

プログラム

開会挨拶 (8:55 ~ 9:00)

会長 井関 雅子 (順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック)

セッション 1 (9:00 ~ 9:55)

座長 大島 秀規 (日本大学医学部脳神経外科学系神経外科学分野)

- 1-1 腕神経叢引抜き損傷後痛に対し脊髄刺激療法が有効であった 1 症例
萩原 信太郎
NTT 東日本関東病院 ペインクリニック科
- 1-2 腕神経叢引抜き損傷に対して SCS が奏効した一症例
坂本 典昭
仙台ペインクリニック
- 1-3 バースト DR 刺激が著効した腕神経叢引き抜き損傷の 1 症例
立山 真吾
潤和会記念病院 ペインクリニック科
- 1-4 亜急性期の上肢帯状疱疹痛に対して脊髄刺激療法が有効だった一例
濱岡 早枝子
順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座
- 1-5 脊髄刺激療法がパーキンソン病の歩行, ADL 改善に与える影響について
山口 敬介
順天堂東京江東高齢者医療センター麻酔科・ペインクリニック
- 1-6 パーキンソン病に伴う慢性疼痛に対するバースト刺激の効果
上利 崇
倉敷平成病院倉敷ニューロモデュレーションセンター

シンポジウム 「SCS の軌跡と未来」 (9:55 ~ 11:00)

座長 伊達 久 (仙台ペインクリニック)

- S-1 脊髄刺激療法の変遷と将来の有用性について
演者 安部洋一郎 (NTT 東日本関東病院 ペインクリニック科)
- S-2 慢性疼痛に対する脊髄刺激療法の長期成績
演者 細見 晃一 (大阪大学大学院医学系研究科 脳神経機能再生学)

S-3 末梢血行障害に対する当科的治療方針と SCS 適応の検討

演者 篠崎 未緒 (獨協医科大学医学部麻酔科学講座)

セッション2 (11:05 ~ 12:05)

座長 杉山 憲嗣 (浜松医科大学 脳神経外科)

2-1 脳深部刺激療法導入長期患者における刺激装置埋設部の皮膚菲薄化に対する対応

龍岡 樹里

日本大学医学部脳神経外科系神経外科分野

2-2 Directional lead を用いて, STN, PSA, Vim の刺激効果を評価した振戦型パーキンソン病の1例

北川 まゆみ

札幌禎心会病院脳神経内科

2-3 視床刺激療法における Directional current steering が有用だった本態性振戦の2症例

宮城 靖

医療法人相生会 福岡みらい病院

2-4 局所性ジストニアに対して Vim-Vo DBS を行った1例

尾崎 充宣

和歌山県立医科大学脳神経外科

2-5 Parkinson 病に対する STN-DBS の効果は線条体腹側部の節前機能と関連する

野崎 孝雄

浜松医科大学脳神経外科

2-6 視床中間腹側核への電極留置部位と赤核視床路との位置関係評価

森下 登史

福岡大学医学部脳神経外科

ランチョンセミナー (12:10 ~ 13:10)

共催: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長 樋口 佳則 (千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科)

LS 進行期 PD 治療 —神経内科医が考える DAT 適応と薬剤との併用—

演者 下 泰司 (順天堂大学医学部附属練馬病院 脳神経内科)

セッション3 (13:15 ~ 14:20)

座長 齋藤 洋一(大阪大学大学院医学系研究科 脳神経機能再生学講座)

- 3-1 急性期脳卒中患者の前頭前野ニューロフィードバック訓練効果差
手塚 正幸
自治医科大学脳神経外科
- 3-2 変形性膝関節症に伴う慢性膝痛に対する脊髄近傍 TENS の鎮痛効果
服部 貴文
前原整形外科リハビリテーションクリニック リハビリテーション部
- 3-3 術後痛に対する脊髄近傍 TENS の鎮痛効果に関する検討
山口 修平
済衆館病院 リハビリテーション科
- 3-4 TENS による経皮的脊髄電流刺激が及ぼす鎮痛効果とその領域に関する検討
牧野七々美
西尾市民病院 リハビリテーション科
- 3-5 大脳皮質運動野刺激による脳卒中後疼痛発症の予防効果
山本 隆充
苑田会リハビリテーション病院 ニューロモデュレーションセンター
- 3-6 痙性対麻痺の歩行障害に対するバクロフェン髄注療法：術後の重心動揺の変化
樋口 佳則
千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科
- 3-7 FUS 視床破壊による振戦軽減に伴う脳内ネットワーク変化の解析
谷 直樹
大阪大学医学部脳神経外科

特別講演 (14:20 ~ 15:05)

座長 井関 雅子(順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座
／順天堂大学大学院医学研究科疼痛制御学)

- SL 慢性疼痛に対する運動療法の意義
演者 松原 貴子(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部)

スイーツセミナー（15:15～16:15）

共催：第一三共株式会社

座長 谷口 真（東京都立神経病院 脳神経外科）

SS Neurospinal surgeon が考える疼痛治療；Spinal cord stimulation の前に行うこと

演者 尾原 裕康（順天堂大学医学部 脳神経外科）

セッション4（16:25～17:30）

座長 山口 敬介（順天堂東京江東高齢者医療センター麻酔科・ペインクリニック）

4-1 FBSS に対する脊髄刺激療法－簡略化を目指して－

東山 巨樹

秋田県立脳血管研究センター脊髄脊椎外科

4-2 脊髄刺激療法の多面的評価

森 信彦

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経機能再生学

4-3 脳幹梗塞を来した高度椎骨脳底動脈狭窄に対する脊髄電気刺激治療の効果

篠永 正道

国際医療福祉大学熱海病院脳神経外科

4-4 脊髄刺激療法の刺激調整に関する一考察

信太 賢治

昭和大学横浜市北部病院麻酔科

4-5 幻肢痛に対して脊髄神経刺激療法が有効であった一症例

大岩 彩乃

東邦大学医療センター大森病院 麻酔科

4-6 脊髄刺激療法合同カンファランス4年間の報告

西山 隆久

東京医科大学八王子医療センター

次期会長の挨拶（17:30～17:35）

第34回会長 杉山 憲嗣

閉会の辞（17:35～17:40）

第33回会長 井関 雅子